

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和2年3月31日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名

経理責任者名

(又は議員名

田中 武春



令和元年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり令和元年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和元年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入

政務活動費 440,000 円

【内訳 40,000円×11カ月】

2 支出 556,190 円

3 残額 0 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	10,560	会場費	0	大会参加 R元. 10. 29 ・長崎県長崎市
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	0	
		交通費	7,560	
		宿泊費	0	
		その他の経費	3,000	
調査旅費	147,840	交通費	102,240	視察 R元. 7. 17~19 ・北海道東川町 ・北海道岩見沢市 ・北海道千歳市
		宿泊費	26,600	
		その他の経費	19,000	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	0	資料購入費	0	
広報費	397,790	広報紙等印刷製本費	258,360	活動報告書
		送料	139,430	活動報告書送料
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

令和元年度		政務活動費										
旅行者	役職名 議員 氏名	用務	発着駅名	經由	鉄道賃			賃	日当及び 食事代	宿泊料		割引 備考
					旅程	運賃	超・特・急			料金額	宿泊地	
10月29日	坂平末雄	森林・林業・林産業活性化九州大会	博多		34.6km	3740			3,000			
	田中武春	長崎県長崎市魚の町5番1号	博多		153.9km		1,410					
	佐藤清和	長崎市民会館文化ホール	長崎駅前		0.9km	130						
	道祖満		市民会館		0.9km	130						
			長崎		153.9km	3740	1,410					
			博多		34.6km							
			※「森林・林業・林産業活性化九州大会」参加助成金									
経回番号				計		7,740	2,820	0	3,000			10,560
												合計金額

10月29日(火) 13時30分～16時00分
九州の森林・林業活性化促進議員連盟と林業関係者が一堂に会し、
森林・林業・林産業の活性化と山村地域の振興を図るための大会。

備考
※「森林・林業・林産業活性化九州大会」参加に係る経費として、
連盟より3,000円の助成。

※「森林・林業・林産業活性化九州大会」参加助成金

-3,000

合計金額

10,560

林 活 第 2 号
令和元年9月4日

各市町村議会
森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 会長 様
(議会事務局付)

福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
会長 江藤 秀之



「森林・林業・林産業活性化九州大会」の開催について (御案内)

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素から林活議連の活動と森林・林業・林産業の活性化に関しまして、格別の御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、九州の森林・林業活性化促進議員連盟と林業関係者が一堂に会し、森林・林業・林産業の活性化と山村地域の振興を図ることを目的とした標記大会を下記のとおり開催いたしますので、貴林活議連の皆様にご参加いただきますよう御案内申し上げます。

参加申込につきましては、福岡県林活議連で取りまとめますので、別紙参加申込書にて、令和元年9月20日(金)までにお知らせいただきますようお願い申し上げます。

なお、経費として参加議員一人当たり3千円を助成することとしておりますので、大会終了後に別添の助成金申請(請求)書により御請求ください。

記

- 1 日 時 令和元年10月29日(火)
開場：12時30分 開始：13時00分 (オープニングイベント)
- 2 場 所 長崎市民会館 文化ホール
(長崎市魚の町5-1)
- 3 その他 詳細につきましては別紙を御参照ください。

【お問い合わせ先】

福岡県林活議連事務局

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

担当：福岡県農林水産部林業振興課 池田・和田・柘島

電話：092-643-3534(直通) FAX：092-643-3541

E-mail: rinshinko@pref.fukuoka.lg.jp

(市町村林活議連用)

(別紙)

福岡県 農林水産部 林業振興課(林活議連事務局) 梶島 様

FAX 092-643-3541

または

E-mail: rinshinko@pref.fukuoka.lg.jp

(TEL 092-643-3534)

林活議連名	飯塚市
担当部署	議会事務局
担当者名	安藤 良
TEL	0948-22-0214
FAX	0948-28-1251
E-mail	giji@city.iizuka.lg.jp

「森林・林業・林産業活性化九州大会」の参加について
(参加申込書)


No.	役職	氏名	ふりがな	交通手段
1	副議長	坂平 末雄	さかひら すえお	公共交通
2		田中 武春	たなか たけはる	公共交通
3		佐藤 清和	さとう きよかず	公共交通
4		道祖 満	どうそ みつる	公共交通
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※ 「交通手段」欄には、借上バス、自家用車、公共交通の別を記入してください。

令和元年11月13日

福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 会長 殿

飯塚 市 議連

会 長 奥山 亮一 

(又は)

事務局長 _____ 印

「森林・林業・林産業活性化九州大会」参加助成金申請（請求）書

令和元年10月29日（火）の標記大会に参加したため、下記のとおり助成金を申請（請求）します。

記

参加議員数（別紙名簿のとおり）	4名	
助成金申請（請求）額	12,000円	
振込先	銀行（農協）名	飯塚信用金庫
	支店（出張所）名	新飯塚支店
	預金種別	普通
	口座名義人（ふりがな）	せいむかつどうひ しみんくらぶ さかひら すえお
	口座番号	1254600

※参加議員名簿を添付してください。

問い合わせ先

飯塚 市議会事務局

（担当：安藤）

電話番号 0948-22-0214

政務活動費 調査旅費等報告書

(会派 (議員) 名 田中 武春)

日程	令和元年 7月17日 から 令和元年 7月19日 まで 3日間		
日時	視察地	目的・概要	所感等
7月17日(水) 14:00 ~16:00	北海道 東川町	東川町立東川日本語学校について	<p><u>事業の経緯</u></p> <p>2009年夏に韓国から33名の学生をおよそ1ヶ月の期間で受け入れたことから始まりました。事業を開始したきっかけは、1990年代に東川町の北海道情報処理専門学校で日本語を学習した韓国の留学生在が2007年来町した際、町長に「学生が少なく活気がなくなっている。韓国には日本語を勉強したいと思っている学生がたくさんいるので、自分も日本語を学んだ東川町で日本語学習の機会を設けてくれないか」と待ちかけ、翌2008年に現地調査を行ったところ、リーズがあるということが分かり、町内の学園や福祉専門学校の協力を得て、2009年夏に受け入れをスタートした。その後、台湾から要望を受け、2010年夏より受け入れを開始し、2011年には国の交流事業を活用して、中国から日本語研修生を受け入れました。年々、国及び人数が増大し、東アジア諸国を中心に2700名を超える人数が受講しています。</p> <p><u>事業の内容</u></p> <p>事業は、1か月から3か月の短期間で、短期滞在ビザを習得して来町し、町内に滞在しながら日本語及び日本文化について学習するものです。</p> <p>授業については、日本語の能力に応じてクラス分けが行われ、個々の能力に応じた指導を行い、受講者とのコミュニケーションも大切にしている。午後には日本文化体験等の学習や日本語能力試験対策の補習などが取り組まれています。</p> <p><u>学生の進路</u></p> <p>日本語力を磨いて自国での就職に結びつけようとする学生が比較的多くなっていて、卒業後</p>

			<p>に帰国する学生が大半を占めています。しかしながら、最近では国内の大学や専門学校への進学、道内企業への就職をする学生も増えてきているそうです。東川日本語学校では、国内での進学・就職を希望する学生のサポートを行っているそうです。</p> <p><u>視察の感想</u></p> <p>東川町では、日本語、日本文化を世界に広めていく目的に日本語教育を通じて国際貢献を行うことで開かれたまちづくりを推進し、交流人口を増やし、町の人口増加や地域経済の活性化を図る目的で進められています。また、町として学生に対し、奨学金制度を活用し学費の援助等を行っています。本市においても廃校になった学校跡地を活用した日本語学校等の検討も考えていき、人口減少問題や地域経済の活性化の一つの対策につながるのではないかと感じました。</p>
日時	視察地	目的・概要	所感等
7月18日(木) 13:30 ～15:00	北海道 岩見沢市	健康経営都市について	<p><u>事業の経緯</u></p> <p>平成28年6月に「健康経営都市宣言」として認定された。健康経営については、「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立ち、健康管理を経営的視点から考え、市として戦略的に実践することを意味します。岩見沢市の総合戦略として「市民一人ひとりが健康で生きがいを持ってらせる健康経営を実践するまち」を進めていく。</p> <p><u>市が目指す「健康経営都市」とは</u></p> <p>医療や介護等の公的サービス、健康診査やがん検診などの「まもる」健康。市民自ら健康づくりを進める「つくる」健康。環境づくり・人・地域・企業や啓発などを通じてこれらを「つなぐ」健康。こと三点を通じて「人もまちも企業も元気で健康」を目指していく。</p> <p><u>具体的な取組み</u></p> <p>守る健康として、疾病の予防・早期発見を目的に、健康診断やがん検診、介護予防事業などを取り組んでいます。また、つくる健康として、</p>

			<p>市民自らの健康づくりを進めることとして、健康チェックやフードデイ、北大COIの日、体操などを取り組み、誰もが健康で生きがいを持って暮らすことができる地域づくりを目指していく事としています。</p> <p><u>視察の感想</u></p> <p>事業内容については、低料金で健康測定を行っていることは評価できるが、遠距離の市民の検診者が少ないようである。交通アクセスの利便性の向上や遠距離地域での啓発活動の充実が課題ではないか。本市としても、子育て、高齢者の健康を守り、病後も美味しい食と、楽しい運動ができる社会をどのように目指していくのかなど課題が見えました。</p>
日時	視察地	目的・概要	所感等
7月19日(金) 10:00 ～11:30	北海道 千歳市	千歳市防災学習センター『そなえる』について	<p><u>事業の概要</u></p> <p>防災学習交流施設は、市民（自主防災組織）、ボランティア、防災関係機関が相互に連携し、防災学習や防災訓練等を実施することで、防災意識や防災力を高めるとともに、防災関係機関に対する理解を深めることを目的としています。また、同施設は、防衛施設と共存した災害に強く安全なまちづくりを進めるもので、大規模災害発生時には災害対策本部として利用できる機能を備えています。</p> <p>総事業費は約21億円で、財源内訳は、防衛省所管の民生安定事業の活用による国庫補助率が75%、残りの25%を起債75%と市費25%に振り分けています。</p> <p><u>施設建設に至った経緯</u></p> <p>千歳市は、三つの自衛隊基地が市街地を囲んでいるため、演習場を結ぶ延長10キロの公道が市街地の境界を形成しており、主に装軌車両の戦車が頻繁に通行します。住宅地を通るため住民から騒音や振動、土埃など生活環境の改善に対する要望が多く寄せられる中、平成14年に防衛庁から高額な補助制度である「まちづくり構想策定支援事業」が創設され、平成17年12月に防災学習交流施設の整備を決定した後、平成18年度から用地買収・実施計画な</p>

どの建設に着手し、平成22年4月24日にオープンしました。

今後の事業展開について

近年の地震などの自然災害を教訓に、防災訓練や町内会、自主防災組織等による消火・救出等の防災訓練、市民を対象とした、防災講座、さらに町内会・自主防災組織及び事業所等を対象とした、防災イベントなどを開催し、防災意識の向上に取り組みが必要である。

また、市民や市内の小中学生には、災害から自分の身を守る自助や共助、公助などについて防災学習や災害模擬体験などを通じて、関心を高めるとともに、市民・自主防災組織及び防災関係機関の意識付けを継続して進めるものです。

今後の課題として、展示施設や体験施設の利用だけではなく、防災学習や防災訓練などに多くの参加をいただき、自主防災組織や防災関係団体などと連携して各種防災事業に取り組むとともに、防災面以外でも様々な分野で施設や各種講座の活用ができるよう、施設運営を工夫していく必要があります。

また、ハード面では開設から10年を迎えていることから、館内の掲示物や体験設備等の更新が必要と考えており、多額な経費が予想されるため、予算確保が大きな課題市なっています。

視察の感想

施設等の管理運営は、再任用職員1名と非常勤職員4名、臨時職員5名の10名体制で、屋内外設備の維持管理や施設利用者への説明並びに展示物の案内、訓練広場の開放などの業務を行っています。人件費については、少額に抑えられているようでした。また、地震体験・煙避難体験・予防実験などを実際に体験してみましたが、想像以上に地震の凄さや煙からの避難の難しさを実感しました。本市としても飯塚駐屯地があり、防衛施設周辺地域の発展と貢献を目的とした補助制度を活用した、まちづくり構想策定支援事業を創設して、防災設備等の整備も検討してみるべきではないかと思いました。

令和元年度		政務活動費			
旅行者	役職名 議員	用務	鉄道賃		宿泊料
氏名	発着駅名	經由	旅程	運賃 超・特・急	料金計
道祖満 佐藤清和 田中武春	東川町立東川日本語学校について 健康経営都市について 千歳市防災学習交流センター「そなえーる」について	北海道東川町 北海道岩見沢市 北海道千歳市			
平山悟 瀬戸光 坂平末雄	～ 福岡空港				
	～ 旭川空港	羽田空港			
	～ 旭川駅				
	～ 東川道草館前				
	～ 旭川駅				
7	旭川駅	滝川	96.2km	1,840	2,970
	～ 岩見沢駅			1,130	
	～ 千歳駅	札幌	81.6km	1,270	2,510
	～				
7	千歳駅	～ あずさ3丁目			
	～ あずさ3丁目				
	～ 千歳駅				
	～ 新千歳空港			870	870
	～ 福岡空港				
	～ 新飯塚				
	～				
経同番号		計	3,980	2,370	6,350
				95,890	9,000
					26,600
					137,840

東川町(14:00～16:00)
岩見沢市(13:30～15:00)
千歳市(10:00～11:30)

備考
※変則的な行程のため、パック利用不可

月日	発着駅名	經由	旅程	運賃 超・特・急	料金計	賃	日当	宿泊地	宿泊料 定額
7	新飯塚					930	3,000		
	福岡空港	羽田空港				64,440			
	旭川空港					620			
	旭川駅					570			
	東川道草館前					570			
	旭川駅							旭川市	13,300
7	旭川駅	滝川	96.2km	1,840	2,970		3,000		
	～ 岩見沢駅			1,130					
	～ 千歳駅	札幌	81.6km	1,270	2,510				
	～							千歳市	13,300
7	千歳駅	～ あずさ3丁目				190	3,000		
	～ あずさ3丁目					190			
	～ 千歳駅								
	～ 新千歳空港			870	870				
	～ 福岡空港					27,450			
	～ 新飯塚					930			
	～								
経同番号		計	3,980	2,370	6,350	95,890	9,000		26,600
								合計金額	137,840

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 田中 武春)

(調査旅費、No.1)

(領収証等貼付箇所)

領収書

平成31年度	納付書番号 6700003840-00-00
納付者	福岡県飯塚市議会 田中 武春 様
視察資料代として 1名につき10,000円	
納付金額	10,000円
納入期限	令和元年 7月17日
所属	01100000 東川町 議会事務局
会計	01 一般会計
款	21 諸収入
項	04 雑入
目	05 雑入
節	01 雑入
細節	34 視察受入負担金
説明	01 視察受入負担金
上記のとおり領収致しました。	
東川町会計管理者	
東川町	収納済印

65000014140000



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 田中 武春)

(広報費、No.1)

(領収証等貼付箇所)

領 収 証

令和 元 年 7 月 23 日

田中 たけはる 様

一 金	4	1	2	6	3	6	0	円
-----	---	---	---	---	---	---	---	---



上記の金額領収致しました

但し印刷部数 6,000部

現金・小切手・手形



筑豊印刷株式会社

代表取締役 吉田 敏浩

〒820-0005 飯塚市新飯塚24番35号 TEL (0948) 22-0911(代)
FAX (0948) 22-8307

領 収 証

令和 2 年 1 月 6 日

田中 武春 様

一 金	1	1	3	2	0	0	0	円
-----	---	---	---	---	---	---	---	---



上記の金額領収致しました

但し市議会報告書印刷代
6,000部

現金・小切手・手形



筑豊印刷株式会社

代表取締役 吉田 敏浩

〒820-0005 飯塚市新飯塚24番35号 TEL (0948) 22-0911(代)
FAX (0948) 22-8307

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 田中 武春)

(広報費、No.2)

(領収証等貼付箇所)

領収書

田中 武春 様

[別納引受]
区内特別基(定)
@73 1,910通 ¥139,430

小計 ¥139,430

郵便物引受合計通数 1,910通
課税計(10%) ¥139,430
(内消費税等 ¥12,675)
非課税計 ¥0

合計 ¥139,430
お預り金額 ¥140,000
おつり ¥570

印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済



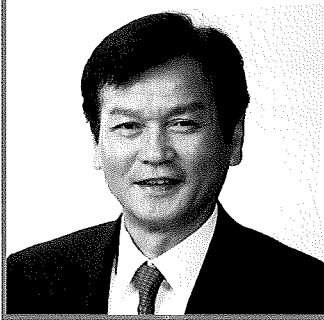
〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時:2020年1月8日 14:09
担当:松本 葵
発行No.200108A5232 端N00箱32
連絡先:飯塚郵便局
TEL:0570-074-030

郵便局からのお知らせ

2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わりました。

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきました。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。

郵便 役所



飯塚市議会議員

2019年7月22日

田中たけはる

市議会報告

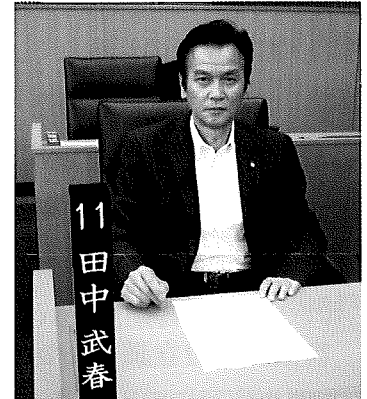
〒820-0076 飯塚市太郎丸907-2
TEL / FAX 0948-28-3092

田中たけはる連絡所

◆はじめに

4月14日告示、21日投開票で実施された飯塚市議会議員選挙において、1,464票の支持を頂き、当選いたしました「田中たけはる」です。

皆さんの期待に応えるため生活者・労働者の目線で一生懸命に議会活動を行ってまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



◆5月臨時議会について

臨時議会が5月20日(月)～23日(木)に開会されました。

初日の5月20日には、飯塚市議会の新しい正・副議長を選出する選挙が行われ、全議員の一票投票の結果、下記のように選出されました。

- ・議長「上野伸五議員」(4期目)
- ・副議長「坡平末雄議員」(5期目)

また、各常任委員会の正・副委員長は下記のように選出されました。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| ・総務委員会 | 委員長 瀬戸 光 | 副委員長 田中武春 |
| ・福祉文教委員会 | 委員長 福永隆一 | 副委員長 土居幸則 |
| ・労働環境委員会 | 委員長 光根正宣 | 副委員長 吉松信之 |
| ・経済建設委員会 | 委員長 奥山亮一 | 副委員長 深町善文 |



総務委員会メンバー

◆総務委員会(6月7日)について

所管事務の調査について、質疑を行いました。

○会計年度任用職員について

「田中議員」

臨時職員、嘱託職員の現状把握と現在の進捗状況はどうなっているか。

「人事課」

職務内容等について昨年10月に調査を行うとともに、今年度からの新規の任用状況も確認しながら現状を把握している状況です。

基本的な考え方は総務省から示されておりますマニュアルや通知等を踏まえた制度を設定したい。

「田中議員」

関連条例の議会上程等、今後のスケジュールについて

「田中議員」

関連条例の議会上程等、今後のスケジュールについて

「人事課」

改正法の施行日は来年4月1日となっています。現時点では9月定例会で関連条例を議会に上程し、各所属長をはじめ、職員への周知を行い。年末から年始頃に募集を開始したいと考えています。

「田中議員」

早め早めの制度構築が必要不可欠である。市の現状は正規職員だけでは行政運営ができない状況である。嘱託・臨時職員の活躍なくしては運営が成り立っていない。待遇改善を中心とした制度として頂くようお願いする。

○音楽大学設立調査について

「田中議員」

進捗状況はどうなっているのか。

「秘書課」

音楽大学設立調査については、他の音楽大学の特色や定員数、学費や経営状況等について調査研究を行い、調査内容については、福岡音楽大学設立の会と確認を行うなど情報共有を行っています。また、設立の会が策定する大学設置の「基本構想」について設置の会と市による会議を4回開催し、「基本構想素案」の内容に関する精査、確認及び協議を行っている。

今後については、設立の会が策定する「基本構想」を取りまとめ、学校法人の選定及び設立資金の確保などの諸問題について明確にしていきたい。

「田中議員」

昨年の9月定例会で市長は「2019年度中には具体的に前に進もうとするのか、難しいと結論を出すのか、判断すべき」との見解を示されていますが、その考えに変わりはないのか。

「秘書課」

基本構想を取りまとめていく中で、教授陣や学生を継続的に集めることができるのかどうか、また、学校法人の選定及び設立資金の確保などの諸問題について、設立の会と十分協議を行い、今年度中に市としての判断をしなくてはならないと考えています。

◆ 第3回定例会（6月20日～7月4日）について

6月26日に一般質問を行いました。

○交差点の事故について

「田中議員」

今年の5月8日に滋賀県大津市において、横断歩道で信号待ちしていた園児の列に車が突っ込み、保育園の園児ら16人が死傷する痛ましい事故が発生した。本市としてこの事故を踏まえ、通学路等の横断歩道が設置されている交差点の安全確保についてどのように考えているのか。

「都市建設部長」

考えられる原因として、歩道のたまり場部分に車両の進入防止対策がされていなかったことが要因と考えます。



「田中議員」

交差点の危険個所の調査、改良についてはポールや車止め等の設置により歩行者の安全確保ができると思うが、本市における安全対策が不十分な交差点が数多くあるのではないかと。調査等は行っているのか。

「都市建設部長」

具体的な調査は行っていないが、日頃の道路パトロールや通学路点検等により危険個所の把握に努めている。今後は、歩行者の安全確保のため、各自治会、警察署等の関係機関と連携し取り組んでいきます。

「田中議員」

各自治会等からの危険個所の情報提供やそれに対する改善要望等はされているのか。

「都市建設部長」

歩行者を車両から守るガードレールやガードパイプの設置、「スピード落とせ」、「横断歩道あり」等の注意喚起の路面標示。カーブミラーの設置等の要望がなされているところです。道路に係る改善要望等については、現場確認や調査を行い、警察署などの関係機関と連携し改善に取り組んでいるところです。

「田中議員」

国道、県道に対する要望は市の管轄ではないため対応できない部分もあると思うが、要望者の思いの代弁者として、国、県に強く要望されるようお願いする。

今後、本市において安全対策についてどのような対応を行っていくのか。

「都市建設部長」

大津市の事故を受けて、令和元年5月13日付で、国土交通省道路局から「園児等の移動経路における交通安全の確保について」の通知が各地方整備局より各都道府県へ周知がされています。これに伴い、今後、道路管理者と公安委員会が合同で園児等の移動経路の点検を実施する事となっています。その結果を踏まえ、今後の安全対策について具体的に検討していきたい。

「田中議員」

最近では高齢者のドライバーによる事故も連日耳にしています。不可抗力により歩行者が被害にあわないよう、市民の命を守るを第一に考え、安全対策に取り組んでいただければ幸いです。

○ため池の管理について

「田中議員」

昨年の7月の西日本豪雨により、幸袋・二瀬・穎田地区に多大な被害を受けました。おもに、河川での被害が多く発生しました。自然災害は何時、どこで起きてもおかしくないのが現状です。今回は少し視点を変えてため池災害対策について考えを聞きたい。広島県福山市では、ため池が崩壊し3歳の女児が土砂に流され死亡しました。

ため池の周囲には、都市化や混住化が進んでいるところも多くあります。このため、管理・所有者は安全施設が周辺住民の利用や管理者の施設管理において安全を確保し生命を守る上で、非常に重要である。本市のため池は何か所あるのか。

「都市建設部長」

本市には、飯塚地区155カ所、穂波地区56カ所、筑穂地区63カ所、庄内地区73カ所、穎田地区34カ所となっています。

「田中議員」

豪雨などの緊急時において、ため池付近の住民への周知についてはどのように行っているのか。

「都市建設部長」

特に、ため池に特化した近隣住民への周知は行っていないが、通常の防災行政無線にて非難が必要な場合に市民の皆様にお知らせしています。

「田中議員」

ため池の補強工事や使わなくなったため池などはどのようにされているのか。

「都市建設部長」

補強工事などは、地元より要望並びに相談があった個所から、点検・調査を行い、年次計画にて工事を行っています。また、耕作の為の機能をきたさなくなった、ため池の撤去につきましては、地元協議による同意や歴史的背景を考慮しますと、むやみに撤去することは、厳しいと考えます。さらに、流出抑制の機能を持たせる事が出来ることから、防災面でも活用できるのではないかと考えます。

「田中議員」

今後の対応として、「ため池マップ」を活用し状況に応じた対策を行って、いただくため「ため池ハザードマップ作成」や「施設の補強等」に分けて実施するなど、効果的かつ効率的に対策を進めていただくようお願いいたします。

◆ 議員定数を24名に削減する条例改正案を提案。

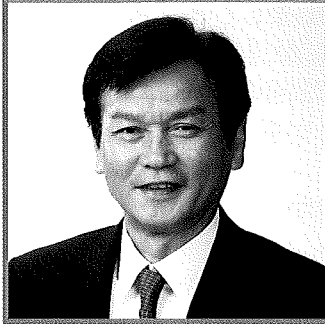
市民民主クラブは、7月4日の本会議で議員定数を現行の28から24に減らす条例改正案を提出した。現在、飯塚市の人口は12万8千人だが国立社会保障・人口問題研究会の推計では、2025年には、12万2千人を割り込むとされていることや、飯塚市の普通会計財政の見通しによると、今後、10年間は単年度赤字が続くと予想されることから「市議会からの財政改革が必要である」と考え、人口5千人当たり1名の議員が適切と考え提案しました。質疑・討論を行い採決した結果、賛成21名、反対6名で条例改正案は可決されました。

次回、2023年春の市議会選挙から適用となります。

その他、同市有安に建設される新卸売市場の整備予算増額を盛り込んだ特別会計補正予算案など21議案を可決、承認しました。



市民民主クラブのメンバー(左から佐藤 清和・田中 武春・道祖 満)



飯塚市議会議員

2020年 冬号

田中たけはる

市議会報告

〒820-0076 飯塚市太郎丸907-2
TEL/FAX 0948-28-3092

田中たけはる連絡所
会派 市民民主クラブ

謹んで新年のお慶びを申し上げます 令和2年 元旦

旧年中は大変お世話になりました。本年も宜しくお願いいたします。

◆9月定例会（9月6日～9月26日）

今定例会では、予算1件、条例10件、契約1件、認定12件、指定3件、人事5件、議員提出3件、報告3件など計38件の議案提出がありました。

主な提出条例は、「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」、「飯塚市会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例」、「飯塚市都市公園体育施設条例及び飯塚市体育施設条例の一部を改正する条例」、「飯塚市庄内温泉筑豊ハイツ条例の一部を改正する条例」などです。

9月26日には、意見書として、「主要農作物種子法に代わる福岡県の独自条例制定を求める意見書」、「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」、「太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書」について承認されました。

議案第116号の財産の処分(山倉)と請願第1号の「飯塚市所有の鉱業権(山倉、綱分地区)」に関する請願については、継続審議となりました。

◆総務委員会（9月13日）

議案および報告事項に対し、質疑を行いました。

○飯塚市会計年度任用職員について

「田中」

会計年度任用職員に関する条例が提案されているが、これにより財政負担がどのくらい増加するのか。

「人事課長」

年間、8,700万円程度の増額が見込まれます。(臨時:約360名、嘱託:約200名)

「田中」

今後のスケジュールはどうなるのか。

「人事課長」

10月以降に、所属長及び任用事務の担当者、また、現在配属されている非常勤嘱託職員、臨時職員に対する説明会を順次開催し、1月以降にホームページ等を通じて募集を開始します。募集の際は、最新の履歴書を提出してもらい、募集者の順次登録を行い、職務内容に応じて、選考・面接等を行います。

○新規採用試験について

「田中」

今年度については、2度の採用試験を実施しているが何が要因だったのか。

「人事課長」

近年は、定年退職を迎える職員が多かったことから、平成30年度から、例年10月実施でありました採用試験を7月実施に変更し、人材確保を行っています。また、昨年度は、高校卒業程度の試験である、いわゆる「初級」

を実施しなかった為、本年度は、実施する事といたしました。高校の新規卒業者に関しましては、「新規高等学校卒業者の就職問題に関する申合せ」という規定があり、9月16日の解禁日以降にしか、試験を実施することができません。よって、例年どおり、10月の統一試験日に開催する事となり、結果、年に2回の採用試験実施となりました。

「田中」

初級(高校)の採用枠が1名とは少なすぎないか。採用枠を広げることは出来ないのか。

「人事課長」

職員の年齢構成のバランスを取りながら、組織を維持していくためには、高校の新規卒業者を想定した試験を継続することは必要であると考えます。採用人数につきましては、今後、組織の構成上、必要数に応じて、検討してまいります。

「田中」

担当部長である総務部長の新規採用試験の在り方について考え方を聞きたい。

「総務部長」

高校を卒業したばかりの人材につきましては、非常に真面目であり、優秀なうえに素直で、長い目で見れば、将来の飯塚市のためには是非採用しておくべきではないかと思う人材であり、採用時期をずらしてでも採用を続けてまいります。

今後も広く受験機会を提供し、公平な採用試験を実施するという原則の中で、創意工夫を重ねてより良い人材を確保できるように努めてまいります。

「田中」

初級で採用された職員にも優秀な職員がたくさんいます。初級(高校)採用の募集人数を増やしていただきたい。また、障がい者の採用についても雇用率によらない継続的な雇用が必要であると感じています。是非、誰もが広く受験機会が提供されるよう検討をお願いします。



◆ 決算特別委員会 (9月19日～9月20日)

○平成30年度一般会計及び特別会計決算の概要

一般会計と特別会計の総計決算は歳入1,117億2,801万4千円、歳出1,105億5,107万1千円で、前年度に比べ歳入で49億9,349万2千円(△4.3%)、歳出で48億3,252万9千円(△4.2%)それぞれ減少しています。総計決算の実質収支は8億7,149万1千円の黒字となっていますが、単年度収支は3億1,551万6千円の赤字となっています。

◆ 12月定例会 (12月6日～12月19日)

今定例会では、補正予算24件、条例9件、その他18件、報告2件、請願1件、議員提出4件など計58件の議案提出がありました。

定例会の初日に継続審議中であった、議案第116号の財産の処分(山倉)と請願第1号の「飯塚市所有の鉱業権(山倉、綱分地区)」に関する請願について、質疑・討論・採決が行われ、結果として執行部提案に対し、賛成10、反対17で否決され、請願については、賛成多数で可決されました。

12月12日に一般質問を行いました。

○「ふれあい訪問収集」について

解説:ふれあい訪問収集とは、高齢者や障がいのある方が家庭のごみをゴミステーション等に持ち出すことが困難な世帯を対象に、戸別訪問してごみを収集する制度です。

「田中」

令和元年度の支援を利用されている世帯と地区ごとの内訳はどうなっているのか。

「市民環境部長」

令和元年11月末現在で、142世帯が利用されています。地区ごとについては、飯塚地区106世帯、穂波地区15世帯、筑穂地区9世帯、庄内地区7世帯、颯田地区5世帯となっています。

「田中」

手続きの簡素化についてはどうなっているのか。

「市民環境部長」

申請から収集開始まで2週間程度かかっていたが、現在は1週間程度で収集を開始できるようにしております。

「田中」

ふれあい訪問収集は、ゴミの収集だけではなく、安否確認も含めた事業であり、当然、個人情報に関わる部分が多くあり「守秘義務」を守らなければならない。公的な身分及び接遇等を持つ正規職員の方が望ましいと思うがどうか。

「市民環境部長」

個人情報については、毎朝ミーティングを行い守秘義務の厳守と書類の徹底管理を確認している。申請から面談などでは、飯塚市職員ということで、利用者や家族から安心していただいております。

「田中」

中長期的なビジョンについて何か考えはあるのか。

「市民環境部長」

今後も利用件数拡大のため広報周知を行っていきたい。また、今後利用者が増加した場合には、職員の配置や車両の対応が必要になってくると思っています。

「田中」

今後も、この事業を充実していただき、継続して取組まれるよう職員の配置、車両、予算の確保等をお願いする。

○「人権行政の推進」について

「田中」

「飯塚市部落差別をはじめあらゆる差別の解消の推進に関する条例」の施行をふまえ、市民に対し条例の周知、啓発をどのように行っているのか。

「市民協働部長」

市報やホームページの掲載、全世帯へのチラシ配布、条例のパネルやポスターを作成し各交流センター等の公共施設での掲示、自治会長会での周知啓発、同和問題啓発月間における講演会や部落解放研究集会の参加者へのチラシ配布など、あらゆる機会をとらえ周知啓発を行っています。

「田中」

市民に対する意識調査について、その結果と今後のスケジュールはどうなっているのか。

「市民協働部長」

今年9月に市民意識調査を実施しました。現在、回答いただいた調査票の集計分析作業中です。年内を目途に集計分析を終え、来年2月末に報告書の作成、3月末までに報告書概要版の作成を目指しているところです。

「田中」

インターネット上の部落差別に対する取り組みとしてモニタリング(実態把握)、削除対応、相談体制の充実等に向けた取り組みについて考え方はあるか。

「市民協働部長」

現在、インターネットを悪用し、誹謗中傷、プライバシー侵害など人権侵害と言わざるを得ない行為が後を絶たず、新たな課題となっています。他市においては、インターネット上の差別表現等に対しモニタリングを行っている自治体もあり、本市としても、先進事例を十分調査研究し、適切な対応が出来るよう取り組んでいきたいと考えます。

「田中」

部落差別の解消に向けては教育の果たす役割は大きいと考えます。市内の小中学校においてどのような人権教育に取り組んでいるのか。

「教育部長」

市教育委員会としましては、人権に関する知的理解と人権感覚の育成を通じて、人権尊重に関する実践行動力を培うための総合的な教育を進めるために、教科の学習をはじめ教育活動全体を通じて行っています。特に、中学校においては、部落差別に起因する結婚差別や就職問題、インターネット上の書き込みの問題などを取り扱った教材を活用したり、新聞記事や意識調査の結果などを取り上げたりしながら、差別をなくすためにど

んなことが必要なのか、自分には何ができるのかといった学習に取り組んでいます。

「田中」

学校において児童生徒の人権感覚はどのように育成しているのか。

「教育部長」

児童生徒が友達の意見を聞き合い、内容を考えて、はっきりと自分の意見を述べるという学習活動が人権感覚の育成に効果的であることから、教育活動のあらゆる場面で児童生徒の話合い活動を意図的に設定しています。飯塚市が推進している「知識構成型ジグソー法による協調学習」を活用しながら人権感覚の育成に努めています。

「田中」

本市として、部落問題に向けた「基本認識と解決に向けた決意」を明らかにされたい。

「市民協働部長」

情報化の進展に伴いインターネットを悪用した新たな人権課題が生じるなど、部落差別の状況に変化が生じていることなどを十分認識し、教育及び啓発活動の充実を進めていくことが重要と考えています。本市として、「部落差別問題の早期解決」を市政の重要な課題として認識しており、今年度の人権問題市民意識調査の結果を踏まえ、部落差別のない社会の実現に向け、教育や周知啓発に取り組んでいきます。

「田中」

市長として「部落差別問題」に対する基本的な考えを聞きたい。

「市長」

全国に先駆けて、市としての条例制定を行い、市民とともに取り組むという姿勢を示しました。また、市民意識調査や市職員の意識調査を実施いたしました。この結果を踏まえ、次の施策に生かしていきたい。部落差別をはじめ、あらゆる差別のない飯塚づくりは、まさに共生社会としての飯塚の規定をなすものと考えます。今後もしっかりと取り組んでまいります。

「田中」

本市が目指す「人権を大切にする市民協働型のまちづくり」に向け、市長のリーダーシップで推進をしていただくようお願いする。

◆ 活動報告

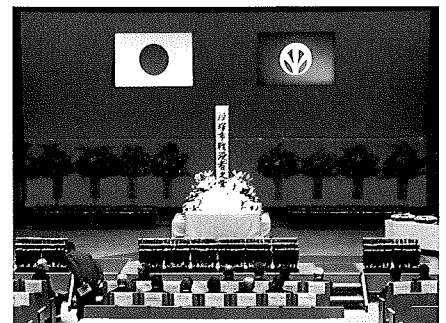
8月27～29日自治労第92回定期大会に参加。全国から3,000人を超える仲間が福岡に集結。



9/28県本部現評定期総会で挨拶をさせて頂きました。



10月3日令和元年度飯塚市戦没者追悼式に参加しました。



10月26日列島クリーンキャンペーンに参加、地域の美化活動を行いました。



10月27日自治会敬老会で挨拶をさせて頂きました。



11月16日お地蔵様植木選定作業に参加しました。



